



2016年度年末年始期間ご利用実績

2017年1月5日

第 16243号

2016年度年末年始期間(2016年12月22日～2017年1月3日)の、JALグループ便のご利用実績を
取りまとめましたので、ご報告します。

【JALグループ利用実績】

1. 国内線 (JAL、J-AIR、HAC、JTA、RAC、JAC各社合計)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比		前年比		前年差
1,697,571席	100.1%	1,334,177人	109.3%	78.6%	+6.6pt

2. 国際線 (JAL)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比		前年比		前年差
382,126席	95.1%	341,459人	99.0%	89.4%	+3.5pt

詳細につきましては、添付別紙「JALグループ各社ご利用実績」をご覧ください。

実績概況

1. 国内線

日並びや特便割引の設定拡大により帰省需要および観光需要が旺盛で、全方面において旅客数が前年を上回り、搭乗率も改善しました。

下りは12月28日～31日、上りは1月3日がピークとなりました。

(参考:1月4日の上り便もピーク同様の実績でした。搭乗率:96.8%)

方面別では、特に沖縄方面の旅客数が前年を大きく上回りました。

2. 国際線

欧州・東南アジア・台湾・グアム線の実績が大変好調でした。

また中国線も昨年対比での実績が改善し、全体としては搭乗率が3.5ポイント前年を上回りました。

(参考:1月4日もピーク同様の実績でした。搭乗率 日本発:92.9% 日本着:94.2%)